

平成 22 年 5 月 12 日

各 位

会 社 名 黒川木徳フィナンシャルホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 間 瀬 博 行
(コード 8737 大証第2部)
問合せ先 執行役員管理本部長兼IR・広報部長兼財務部長 川中 雅浩
(TEL 03-6821-0606)

平成22年3月期業績と前年業績との差異に関するお知らせ

平成 22 年 3 月期（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）の業績が、前期の平成 21 年 3 月期（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）の業績に対して、下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 3 月期業績と前年業績との差異（連結）

(単位：百万円、%)

	営業収益	純営業 収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
平成 21 年 3 月期 (A)	1,106	1,062	△1,856	△1,643	△2,283	△67 円 71 銭
平成 22 年 3 月期 (B)	3,490	3,423	△125	87	73	2 円 07 銭
増減額 (B－A)	2,383	2,361	1,730	1,730	2,356	69 円 78 銭
増減率 (%)	215.4	222.2	—	—	—	—

2. 平成 22 年 3 月期業績と前年業績との差異（個別）

(単位：百万円、%)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
平成 21 年 3 月期 (A)	△614	△971	△916	△2,617	△77 円 63 銭
平成 22 年 3 月期 (B)	94	△198	△143	△91	△2 円 58 銭
増減額 (B－A)	709	772	773	2,526	75 円 05 銭
増減率 (%)	—	—	—	—	—

3. 差異が生じた理由

当連結会計年度における我が国経済は、前年度からの世界同時不況の影響からくる大幅な景気の悪化という厳しい状況からスタートとなりましたが、海外経済の改善、国内経済対策の効果が年度後半に現れるなど、一部に持ち直しの兆しがみられました。しかし、完全失業率が依然として高い水準にあるなど雇用情勢は厳しく、国内消費市場の縮小や慢性的なデフレ傾向な

どにより、景気回復を実感させる状況ではなく、先行きは不透明な状態が続いております。

このような中で、黒川木徳証券㈱の委託売買代金シェアは拡大し、投資信託販売にも注力した結果、当連結会計年度の受入手数料は 2,934 百万円（前年同期比 100.0%増）、トレーディング損益は 360 百万円の利益（前年同期比 119.7%増）となりました。これにより同社の営業利益は 86 百万円、経常利益 97 百万円、当期純利益 50 百万円となり、三期ぶりに黒字化いたしました。

この結果、当連結会計年度の営業収益は 3,490 百万円（前年同期比 215.4%増）、経常利益は 87 百万円（前年同期は経常損失 1,643 百万円）、当期純利益は 73 百万円（前年同期は当期純損失 2,283 百万円）となりました

以 上